

令和4年度第4回鶴岡警察署協議会の開催

日 時	令和5年3月2日(木)午後3時30分から午後5時までの間
場 所	鶴岡警察署4階大会議室
出席者	協議会委員：会長以下8名 警察署員：署長以下13名
議 題	警察業務全般に対する意見・要望について

【協議内容等】

委員からの意見等	警察署の回答
<p>警察の仕事は多忙だと思うが、身体に気を付け住民の安全のため、公務を頑張ってほしい。</p>	<p>地域の安全安心の確保のため、署員一丸となって職務に邁進します。</p>
<p>警察庁がSNS上の「闇バイト募集」などの書き込みを違法・有害情報として削除要請を始めたとの報道があった。 また、鶴岡署では全国初の試みとして体験型のアポ電対応が訓練されたことやサイバーパトロールに協力した学生に対する表彰も行われたとの報道があった。 特殊詐欺や強盗事件の被害防止対策に、一生懸命取り組んでいると感じている。 これからも引き続き注意喚起を願いたい。</p>	<p>本県警でも、WebサイトやSNS上で「闇バイト募集」などの違法・有害情報に関する書き込みを発見した際は、積極的に事業者に対し削除要請を行っています。今後も積極的にサイバーパトロールを行い、取締りを強化していきます。 体験型のアポ電対応訓練の目的は、「アポ電」を擬似的に体験して当事者意識を持ってもらい、特殊詐欺被害に遭わないための対処方法を学んでもらうことです。 また、特殊詐欺や強盗被害防止のため、巡回連絡時に、常時留守番電話の設定、常時施錠の徹底などを呼び掛けており、各種防犯講話などでも広報啓発を行っています。 今後も継続して注意喚起していきます。</p>
<p>特殊詐欺被害防止方法はどのようなものがあるか。未然に防いだ事例はあるのか。</p>	<p>特殊詐欺被害を防止するには、「自分だけで判断しないで誰かに相談する」ということが非常に重要です。令和4年中、当署管内では、架空料金請求詐欺にだまされそうになった方が、家族や友人に相談したことで、被害を免れた事案が複数ありました。 また、本県警では、特殊詐欺被害防止の水際対策として、被害発生現場になりやすい金融機関やコンビニエンスストア</p>

	<p>等に対し、ATMでお金を振り込もうとしたり、電子マネーカードを購入しようとする来店客に対する声掛けを依頼しており、この声掛けによって特殊詐欺被害を阻止した事案も複数確認されています。</p>
<p>「闇バイト」について踏み込んだ捜査をしているか。</p>	<p>「闇バイト」の捜査の端緒を入手した場合は、サイトの情報を精査して、捜査を進めます。</p>
<p>現在、全国で相次ぐ強盗事件や特殊詐欺事件は、弱い立場の高齢者を狙い悪質である。鶴岡では、強盗事件は起こっていないのか。</p> <p>テレビなどでは、「家に居ても鍵を掛けてください」などの防犯意識を高めることで、自分の身を守ってほしいと言っている。どのような防犯対策が有効なのか。</p>	<p>令和4年の当署管内での強盗事件の発生はありませんでしたが、いどこで発生するのか分からない情勢ですので、日頃からの防犯対策は重要です。</p> <p>具体的な防犯対策としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の境界に門扉、フェンスなどを設置 ・在宅中でも、日常的に玄関や勝手口、窓等の施錠、補助鍵の設置と自宅周囲の確認を励行 ・来訪者が分かるようにセンサーライトや玄関付近を撮影できる防犯カメラの設置 ・近隣住民との声掛けによる防犯意識の向上と不審者発見時の110番通報が有効と考えられます。 <p>防犯カメラの設置には手間や費用がかかりますが、高い防犯効果があると考えられます。犯人は犯行現場の下見に来ることが多いため、事前に現場に防犯カメラが設置されていることを犯人が知れば犯行の対象を変更するなどの抑止効果も期待されますし、万が一、事件が発生した場合でも早期検挙につながります。</p>
<p>相変わらず特殊詐欺事件が多く発生しているので、地域内での特殊詐欺被害防止活動が大切だと思うが、警察からも今まで以上に啓蒙を含め積極的な対応をお願いしたい。</p>	<p>今後も、特殊詐欺の不審電話を認知した場合は、「やまがた110ネットワーク」でタイムリーな情報発信に努めるほか、金融機関、コンビニエンスストア等の事業者や防犯団体の方とも緊密に連携しながら、特殊詐欺被害防止のための広報啓発活動を推進していきます。</p> <p>また、アポ電対応訓練も積極的に実施していきます。</p>
<p>予算執行の関係で春先の横断歩道の補修対応は難しいと思うが、安全に関することなので警察署からも強く要望してほしい。地域からも要望を出す。</p>	<p>横断歩道の維持補修は、警察で実施しています。交通環境や交通量等を勘案して優先順位の高いものから、予算の範囲内で行っていますが、委員から御意見をいただいたとおり、交通安全に関するこ</p>

	<p>とですので、なるべく早い時期に補修を実施していきます。</p>
<p>高齢者世帯が多くある地域では、助け合って生活をしているが、不安を抱えている方も多く、見守りには多くの目が必要なので、駐在所勤務員からは、今後とも地域住民に身近な存在でいてほしい。</p> <p>自分たちでも、犯罪のない、事件に巻き込まれない地域となるよう努めていきたい。</p>	<p>巡回連絡を実施している地域警察官から、最近、闇バイト関連の強盗事件や特殊詐欺被害に加え、当署管内でも発生した土砂災害を始めとする頻発する災害等による影響で、事件事故が身近に迫っていると不安感を抱いている住民の方が多くなったと報告を受けています。</p> <p>この不安を解消するため、制服を着用している地域警察官による地域に根ざした活動を推進し、高齢者世帯を始めとした住民の安全安心に努めていきます。</p>
<p>車を運転していると、吹雪の際、ハザードランプを点灯したまま走行している車をよく見掛ける。吹雪の際、ハザードランプを付けたまま走行した方がいいのか。</p>	<p>ハザードランプは、正式には非常点滅表示灯と呼ばれる装置です。ハザードランプを点灯させることが義務付けられているのは、停車または駐車するときですので、ハザードランプを点灯したまま走行する行為は、本来の使用方法から逸脱することになります。</p> <p>一方で、吹雪で視界がゼロとなるようなホワイトアウトに遭遇した場合には、早めに減速して前に停止している車がいるかもしれないと予測し、速度を落とし慎重な運転を心掛け、停止するときはハザードランプを点灯させ、追突されないよう駐車場や駐車帯などの安全な場所に移動して停止するようにしてください。</p> <p>また、吹雪の際には可能な限り不要不急の外出を避けてください。</p>
<p>交差点において右折レーンが設置されているのに、右折用の矢印が無い又は矢印点灯時間が短い交差点が多い。</p> <p>もっと改善できないか。</p>	<p>右折矢印信号機の設置については、交通量や渋滞の有無などから必要性を判断しています。右折矢印の表示秒数についても、交通実態に合わせて適切に調整し交通の円滑化を図っていきます。</p>
<p>前回の協議会で質問した信号のある交差点について、渋滞緩和のための対応は、その後どうなったか。</p>	<p>東西道路の渋滞緩和を図るため、東西道路の青色信号表示秒数を延長しておりますが、主道路である南北道路でも渋滞が認められますので、再度調整を図っています。</p>